

令和2年度 新人助産師多施設合同研修

1. 目的 医療機関の新人助産師を対象に合同で研修を行い、助産師の質向上及び早期離職防止を図る。
 ①安全な助産ケアを提供するために必要な基本的知識・技術・態度を学び、実践力を高める。
 ②助産師の基礎研修をとおして、自己の課題を明確にすることができる。
2. 期間 録画配信期間(令和3年2～3月予定)
3. 対象 宮城県内の新人助産師(資格取得後初めて助産業務に就く助産師も含む) 30 名程度
4. 受講料 無 料
5. 内 容

研修 番号	テーマ	ねらい	内容	講師(敬称略)	録画配信 所要時間	配信 日程 (予定)
1131 -1)	助産実践の基本 「助産倫理と助産 師活動」	助産倫理と助産 師活動を理解す る	[助産倫理と助産師活動] ・助産師業務と生命倫理 ・助産師の義務と助産活動	東北大学大学院医学系研究科 教授 吉沢豊予子	調 整 中	【1回目】 2月8日(月) ～24日(水)
1131 -2)	助産実践の基本 「妊娠期の看護」	妊娠期の診断と ケアに必要な基 礎知識を理解し、 実践に活かす	[妊娠各期診断とケア] ・妊婦期の健康生活行動診断に必要な情 報 ・妊娠期の代表的な疾患とケア 切迫早産、PIH、GDM、多胎妊娠等	宮城県立こども病院産科病棟 主任助産師 一柳 智恵 助産師 中村 明日香		
1132 -1)	助産実践の基本 「母乳育児」	周産期ケアに必 要な基礎知識・ 技術を学び、実 践に活かす	[母乳育児] ・母乳分泌のメカニズム ・乳房ケアの基本 ・乳房トラブルの診断とケア	東北公済病院 母子センター 助産師 佐藤 梅子		
1132 -2)	助産実践の基本 「周産期の診断と 看護」	周産期の診断と ケアに必要な基 礎知識を理解し、 実践に活かす	[CTGの判定] ・胎児心拍波形の分類と判断 ※産婦人科診療ガイドラインに基づいた 判読 ・胎児心拍波形分類に基づく対応と処置	東北大学病院 医 師 星合 哲郎		調整中 3月予定
1133	助産実践の基本 「新生児の看護」	新生児期の診断 とケアに必要な 基礎知識を理解 し、実践に活かす	[出生直後のフィジカルアセスメント] ・新生児の母体外生活適応のアセスメント ・新生児期の診断とケア [新生児期の異常への対応と援助] [ハイリスク新生児の特徴とケア] ・低出生体重児の看護 ・病期、病態、重症度に応じたケアとポイ ント	宮城県立こども病院新生児病棟 看護師長 原山千穂子 新生児集中ケア認定看護師 主任助産師 星 恵美子		【1回目】 2月8日(月) ～24日(水)
1134 -1)	助産実践の基本 「産科救急対応」	分娩各期の救急 対応を学び、実 践に活かす	[分娩各期の救急対応] ・分娩経過の診断 ・ハイリスク分娩 ・弛緩出血等 ・死産ケア等	東北大学病院 総合周産期母子医療センター 助産師 佐藤 聡美		
1134 -2)	助産実践の基本 「安全管理」	分娩各期におけ る医療安全を学 び、実践に活か す	[助産師に求められる医療安全] ・産科医療補償制度 ・安全確保 ・情報管理	調整中		調整中 3月予定
1135 -1)	助産実践の基本 「分娩期の看護」	分娩期の診断と ケアに必要な基 礎知識と技術を 学び、実践に活 かす	[自然の力を引き出す助産技術] ・正常分娩助産の実際 ・分娩助産の振り返り	東北公済病院 母子センター 主任助産師 守 美和子		【2回目】 3月1日(月) ～15日(月)
1135 -2)	助産実践の基本 「産褥期の看護」	産褥期の診断と ケアに必要な基 礎知識を学び、 実践に活かす	[産褥期の助産診断と異常への対応] ・産褥期の助産診断 ・産褥期の代表的疾患 ・褥婦の心理的適応診断	東北大学病院 総合周産期母子医療センター 母性看護専門看護師 小寺 由理		